

勇気ある「ファーストペンギン」に

1月27日、帝国ホテル大阪 組合員らおよそ70名が出席

新春講演会のテーマは「フレキシソ印刷」

近畿印刷産業機材協同組合 2016年 新年互礼会



加貫順三理事長

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)は1月27日、大阪・北区の帝国ホテル大阪において新年互礼会を開催。組合員らおよそ70名が駆けつけ、新年の門出を共に祝った。また当日は互礼会に先立ち、恒例の新春講演会も併催され、今回は(株)TSIプランニング・執行役員シニアフレキシソアドバイザーの塚田昌氏を講師に迎え、「日本の軟包装印刷業界事情&水性フレキシソの現状」と題して、およそ1時間半にわたる講演が行われた。

互礼会の冒頭、新年の挨拶に立った加貫理事長は、NHKの朝ドラに出てくる五代友厚について、「彼は明治初期に大阪株式取引所を設立した人物だが、印刷業界人とは切っても切れない縁がある。英和辞典の刊行において、我が国印刷の祖である本木昌造氏にその構想を伝えて活版業を開くように勧め、融資までした。印刷業界における最大の支援者のひとりの人物像がテレビで全国に紹介されたことは、大阪人として大変嬉しい」と述べ、またこのドラマに出てくる「ファーストペンギン」という言葉に言及。「氷原に穴が開いていたとしてもペンギンは何もしない。

穴の中には餌があるかもしれないが、天敵が潜んでいるかもしれないからだ。やがて1匹のペンギンが意を決して穴の中に飛び込む。餌を啜えたペンギンが元気に飛び出してきたら、後のペンギンも一斉に飛び込むそうだ。この最初に飛び込める勇気ある『ファーストペンギン』が組合員の中から多く生まれることを願っている」と述べ、新年の挨拶とした。

この後、上野耕治副理事長による乾杯発声で祝宴へと移り、新年を祝う歓談が繰り広げられた後、最後は弓倉清副理事長による閉会の辞でお開きとなった。



講師の塚田氏▶



恒例の「ボーリング大会」 38名が競い合い、汗を流す

2月6日、イーグルボウル新大阪

近畿印刷産業機材協同組合は2月6日、イーグルボウル新大阪において恒例の「ボーリング大会」を開催。組合員企業の従業員ら38名が参加した。

同イベントは、組合運営の柱である「親睦」を目的に毎年開催されているもの。ゲームはスクラッチによる3ゲームトータルでスコアを競い合い、汗を流した。

